

## 2016年5月実績概要（メモ）

（2016. 6. 16）

定期修理の集中時期にあたり、生産は化成品、合成ゴム、芳香族製品の多くが前年割れ。

### 1. 生産動向

イ) エチレン 506,300トン

前月比                   ▲4.7% (▲25,100トン)

前年同月比           ▲4.9% (▲25,800トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	+ 3.3 %	-
定修要因等	▲ 8.6 %	+ 0.8 %
能力増減	-	▲ 9.2 %
稼働率変動	+ 0.6 %	+ 3.5 %
生産増減率	▲ 4.7 %	▲ 4.9 %

稼働プラントの実質稼働率試算：前月96.5%→当月97.1%←前年同月94.3%

定修プラント：前月1社1プラント→当月2社2プラント←前年同月1社1プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、稼働日数の増加や定修規模差からLD、HD、SM、SBR、BRなどの8品目がプラスとなった。PP、塩ビモノマー、EO、EG、トルエン、キシレンなどの9品目は定修規模差等からマイナスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等からPP、SM、塩ビモノマー、EO、EG、SBR、トルエン、キシレンなどの11品目でマイナス。LD、HD、PS、塩ビ樹脂などの6品目はプラスとなった。

### 2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では日数の増加に加えて定修規模が縮小したLD、HDはプラスとなった。逆に定修規模が増加したPPはマイナス、PSは微減となった。

前年比では、主に定修規模差や稼働率要因からLD、HD、PSでプラスとなった。PPは定修規模の拡大からマイナスとなっている。

ロ) 国内出荷

前月比では、連休に伴う営業日数の減少を主因としてLD、HD、PP、PSの4樹脂揃ってマイナスとなった。

前年比では、LDは前月に続いてほとんどの分野において出荷が増加しプラス。HDではフィルム分野の出荷がマイナスとなる一方で、中空成形等の出荷が増加しプラスとなった。PP、PSでは分野毎の状況に差があるものの出荷全体としてはほぼ前年並みとなった。

ハ) 輸出

定修が継続している中、国内向けへの供給との関係から前月比ではLD、HD、PSでマイナス。前年比でもLD、HD、PPで大幅なマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PPでやや増加し、PSは減少した。在庫率(季節調整済)は前月に対してLD、HDはやや低下、PPは若干の上昇、PSは横這いとなった。在庫水準としてはLD、HDはやや高め、PP、PSはほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		4月末	5月末
LD	+ 8,800	3.0	2.7
HD	+ 800	3.0	2.9
PP	+ 3,100	2.7	2.8
PS	▲ 6,000	1.3	1.3

以 上